

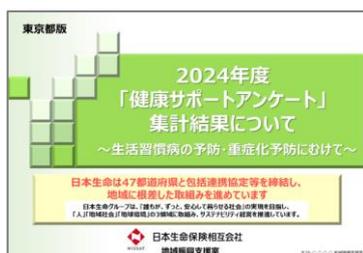
2024年度「地域の健康サポート活動」における 約65万名のアンケート回答結果・取組内容について

日本生命保険相互会社（社長：朝日智司、以下「当社」）は、47都道府県との包括連携協定等に基づき、2024年11月から2025年3月まで、全国約5万名の営業職員による「地域の健康サポート活動（以下、「当活動」）」に取り組みました。

当活動は、日本生活習慣病予防協会監修の生活習慣や生活習慣病に関する「健康サポートアンケート」と、その回答に応じた情報や自治体情報の提供等を通じて、地域の皆様にご自身の生活習慣について考えていただく機会にさせていただきました。

アンケート結果は、当社および日本生活習慣病予防協会にて集計・分析のうえ、報告書としてまとめており、47都道府県をはじめとした全国の自治体にお届けし、フィードバックすることで、地域の健康寿命延伸に向けた市政・運営に活用いただく予定です。

また、自治体から当活動に対するご意見や声を伺い、今年度の活動に反映させることで、引き続き全国の健康課題解決に向けた取り組みを推進してまいります。



2024年度「健康サポートアンケート」集計結果について（報告書）

■全国各地での取組実施について

当取組では、アンケートのご案内と並行して、自治体と共催での健康に関するイベントの開催や地域イベントへの健康に関するブース出展等を実施をし、地域の皆様にご自身の健康や生活習慣について考えていただく機会としていただきました。



地域の健康サポート活動の様子

(左：町田支社 町田市主催イベント、右：京橋支社 鶴見区主催イベントへの健康に関するブース出展)

■「ニッセイ医療費白書」のお届けについて

2025年度については、取り組みの一環として、金融機関で初めて利用承認を得た厚生労働省のNDBデータ(National Data Base)を活用し、自治体毎の医療費状況が分析された「ニッセイ医療費白書」を秋頃より各自治体※を中心にお届けしてまいります。2024年度と同様のアンケートのご案内に加え、「ニッセイ医療費白書」から明らかになった医療費課題を踏まえた取り組みをご提案・実施することで、地域・社会の発展に貢献できるよう努めてまいります。

※各都道府県・人口1万名以上の市町村、東京都特別区毎

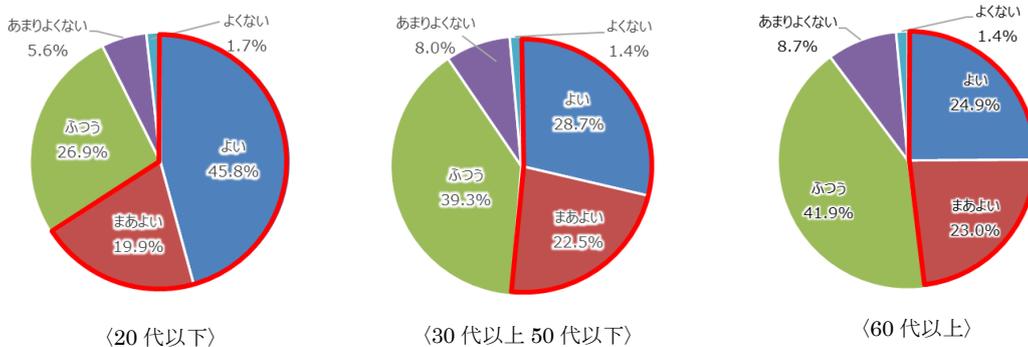


■最終集計結果について

<調査概要>
 実施方法：WEBアンケート
 実施期間：2024年11月25日(月)～2025年3月21日(金)
 有効回答者数：647,029名(男性：295,504名、女性：351,525名)

<最終集計結果 概要>

① 自身の健康状態については、「よい」「まあよい」と回答した割合は、20代以下は65.7%、20代以上50代以下は51.2%、60代以上は47.9%であった。



- ④ 最も関心がある疾病については、男性はいずれの年代も「生活習慣病」が最多、女性は50代以下は「がん」が最多、60代以上は「生活習慣病」が最多となった。

	20代以下	30代以上50代以下	60代以上
【男性】			
がん	37.5%	43.1%	43.6%
生活習慣病	45.1%	46.4%	44.8%
その他	17.4%	10.5%	11.7%

	20代以下	30代以上50代以下	60代以上
【女性】			
がん	44.9%	47.4%	41.2%
生活習慣病	38.5%	40.7%	44.1%
その他	16.6%	11.9%	14.7%

- ⑤ 生活習慣病・その他の疾病のうち最も関心があるものについては、男性の50代以下は「糖尿病」が最多、60代以上は「高血圧」が最多となった。一方、女性の20代以下は「糖尿病」が最多、30代以上は「認知症」が最多となった。

		20代以下	30代以上50代以下	60代以上	
【男性】	がん	心疾患	19.4%	15.6%	14.7%
		脳血管疾患	6.8%	11.6%	12.9%
		高血圧	16.4%	19.7%	19.8%
		糖尿病	29.2%	22.7%	16.6%
		腎疾患	2.9%	4.3%	5.1%
		肝疾患	3.7%	6.9%	4.1%
その他の疾病	眼の疾患	10.5%	7.7%	7.4%	
	認知症	11.0%	11.6%	19.5%	

性別		20代以下	30代以上50代以下	60代以上	
【女性】	がん	心疾患	20.2%	14.0%	11.6%
		脳血管疾患	8.0%	13.6%	14.1%
		高血圧	12.7%	14.4%	14.9%
		糖尿病	27.6%	19.2%	11.1%
		腎疾患	3.6%	4.1%	3.6%
		肝疾患	2.6%	3.6%	2.4%
その他の疾病	眼の疾患	11.6%	9.7%	9.5%	
	認知症	13.6%	21.4%	32.7%	

- ⑥ 生活習慣改善に向けて自治体に求める施策の分野については、20代以下・30代以上50代以下は「栄養・食生活」が最多、60代以上は「生活習慣病予防」が最多となった。

施策の分野	20代以下	30代以上50代以下	60代以上
栄養・食生活	50.7%	70.2%	63.1%
生活習慣病予防	17.1%	51.7%	68.8%
がん予防	17.4%	54.0%	55.7%
休養・睡眠	35.7%	51.8%	26.0%
身体活動・運動	28.2%	43.2%	42.3%
こころの健康	17.3%	34.7%	26.2%
歯・口腔の健康	14.5%	28.2%	21.7%
喫煙	8.8%	13.1%	5.5%
飲酒	5.8%	9.1%	5.3%
特になし	64.9%	61.0%	78.3%

※最大2つまで選択可

引き続き、これらの取組を通じて、サステナビリティ活動を一層推進することで、『誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会』の実現を目指してまいります。

以上

生 25-3576,地域振興支援室